

一般質問発言通告書

発言順位 6 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和元年11月26日

三島市議会議長 大房 正治 様

三島市議会議員 10 番 河野 月江



質問事項 1	「危険木」にかかわる対応の現状と、「危険木除去事業費補助金制度」について
具体的内容	
<p>現在、市内各地域には、老朽化や病害虫などの影響により、倒木、梢頭・枝の枯損の恐れがある、いわゆる「危険木」「枯損木」が、官・民地問わず存在しています。市民のいのちや財産、安全な生活に、時として大きな危険を及ぼしかねません。とりわけ近年の気象変化のもと、台風の強大化や上陸頻度が増え、今後もその傾向が進む予想が専門家からも指摘されているもと、倒木等による二次災害の発生を防ぐという観点からも、従来より踏み込んだ、日常的な樹木の適正な管理、危険除去のための施策が必要と考えます。以上の観点から、以下について伺います。</p>	
1. 街路樹や公共施設等における、樹木管理の指針、運用、「危険木」への対応について	
2. 民地の樹木に係わる指導指針、運用、「危険木」への対応について	
3. 台風19号、21号における市内の倒木等の状況について	
4. 12月1日現在、市が把握している市内の危険木の現況と対応の状況について	
5. 民地における「危険木」除去に対する市の支援策について	
質問事項 2	小中学校における食物アレルギー児童への対応と、今後の対応向上について
具体的内容	
<p>文科省が2013年に実施した公立小中高校児童生徒の食物アレルギー実態調査では、4.5%が「食物アレルギーあり」の結果でしたが、近年その割合はさらに増加しており、当市においても同様の傾向です。対象児童生徒の絶対数が増えるもと、安全確保と事故防止のための方策の繰り返しの徹底と実践が欠かせません。同時に、すべての児童生徒が給食を安全、かつ、より楽しむことを保障するため、県下4割以上の自治体がすでに実施する「除去食対応」へと対応レベルを向上させることが求められます。早期実施とそのため条件づくりを求め、以下について伺います。</p>	
1. 当市公立小中学校における、食物アレルギーのある児童生徒の現況について	
2. 当市の学校給食における食物アレルギー対応の指針および指針にもとづく実施状況について	
3. ヒアリハット報告の状況、およびエピペンの使用状況について	
4. 栄養教諭の配置状況ならびに施設環境の現状と、「除去食対応」について	
質問事項 3	市民がもっとも望む三島の将来像と、第4次三島市総合計画の到達状況について
具体的内容	
<p>8月発表の「令和元年度市民意識調査報告書」によれば、今年度も市民が望む三島市の将来像として最も多かったのは「保健や医療、福祉の充実した優しさのある都市」でした。平成23年3月に策定された「第4次三島市総合計画」は来年度その目標年度を迎えますが、市民が最も望む将来像に向かう施策の進捗がどうであるか、「健康・福祉を育むまちづくり」分野での基本計画や指標にそって、きびしく問わなければなりません。また、アクションプランの第3期を迎え、健康づくりの重点事業を位置づけてとりくんできた「スマートウェルネスみしま」については、費用対効果もふまえそのあり方の検証が必要です。以上の観点から、以下について伺います。</p>	
1. 基本計画第1項「健康・福祉を育むまちづくり」の個別項目の達成度と見解について	
2. スマートウェルネスの健康づくり、アクションプランのPDCAサイクルについて	
3. SDHの視点に立った、健康格差をうみだす貧困等への具体的な対策についての見解、姿勢	